

事務事業名	高速道路関連活性化対策整備事業	所属部	建設部	所属課	都市計画課
政策名	(Ⅱ)安全・安心で快適なまち<<定住環境>>	所属G	国県事業G	課長名	嘉本 俊一
総計画的体系的	施策名 (13)広域幹線道路の整備 目対道路(国道・県道、高速道路)利 意 雲南市と他都市及び市内を安全で便利に移動 的象用者 図 できる。 基本事業名 (037)国道・高速道路の整備促進 目対 意 的象 図 安全で便利に国道・高速道路を利用する。	担当者名	富山 照夫	電話番号	0854-40-1064 (内線) 2461
		予算科目	会計 款 大事業 大事業 0 1 4 0 0 8 業名 項 目 中事業 中事業 1 0 1 5 0 1 業名	国・県道整備事業	高速道路整備関連事業

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (27 年度 ~ 29 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	(事務事業の概要) 松江自動車道が供用した影響により、並行する国道54号の自動車交通量が大幅に減少し、沿線地域の活性化が喫緊の課題となっている。 近年のサイクリングブームや国道54号沿線地域の魅力・交通状況を活かしサイクリングロードの環境整備を行う。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	28年度実績(28年度に行った主な活動) 路面標示工 15箇所 案内標識工 7箇所 29年度計画(29年度に計画する主な活動) 案内標識工 3箇所 当年度で整備完了予定																													
	② 活動指標	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>26年度 (実績)</th> <th>27年度 (実績)</th> <th>28年度 (実績)</th> <th>29年度 (計画)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 整備ルート数</td> <td>本</td> <td></td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	ア 整備ルート数	本		4	3	2	イ						ウ						エ				
	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)																										
ア 整備ルート数	本		4	3	2																										
イ																															
ウ																															
エ																															

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	サイクリスト、道路	③ 対象指標	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)
			ア 市内通過イベント開催数	回		3	2	2
			イ サイクリングロード整備計画延長	km		44	44	44
			ウ					
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	快適なサイクリングができるよう、案内標識や走行環境を整備し、サイクリストを呼び込む。	④ 成果指標	単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)
			ア 市内通過イベント参加者数	人		974	867	1,000
			イ					
			ウ					

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (28年度決算)	② コストの推移	単位	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(計画)
工事費 2,079千円	財源内訳 国庫支出金 千円 県支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 千円 事業費計 (A) 千円 正規職員従事人数 人 延べ業務時間 時間 人件費計 (B) 千円 トータルコスト(A)+(B) 千円					
				2,441	2,079	
				2,441	2,079	
				2	2	
				100	80	
				391	317	
				2,832	2,396	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
H25.3に松江自動車道が開通し、国道54号の通行量は6000台/日から2800台/日に減少した。 しまなみ海道、やまなみ街道、中海大山圏域の4県広域連携の取り組みもH27より開始している。	国土交通省、島根県、沿線市町及び広島県側の取り組みとも調整を図りながら実施している。 整備箇所の実地踏査を県と行き、合理的な設置箇所と使用資材の仕様の精査を行い、コスト縮減に努めた。	試走会では路面状況(ひび割れ、段差)の指摘が多くあった。

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合 →	見直し余地があるとする理由
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合 →	
	③ 対象・意図の妥当性	対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合 →	
B 有効性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？ <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 国、島根県、広島県、沿線市町で統一した整備計画、規格で整備を行っており、向上の余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由 国、県、沿線市町と連携した取り組みであり、廃止できない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？ <input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合 → (具体的な手段や類似事業名) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	理由 統廃合はできない。
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 国土交通省、島根県と協議し、最小限の事業費で取り組んでいる。平成28年度に標識設置箇所の現地踏査を県と行い、合理的な設置位置と設置方法、使用資材の仕様の精査を行い、コスト縮減、整備期間の短縮を図った。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？ <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 関係機関との協議・調整をし、最小限の人員で事業を実施した。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 道路施設の整備は各道路管理者が行っており、適正である。

評価 の 総括	① 1次評価者としての評価結果	② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	国、県と工事コスト、ランニングコストを軽減できるよう検討し、協議・整備を行っている。 路面補修等は道路維持担当と連携を図り、効率的に行っている。

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 走行環境の整備と同時に、サイクリストを呼び込むイベント開催や情報発信など観光分野の取り組みも必要である。	② 改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width:100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <small>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</small>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下	維持		×	×	低下			
				コスト																							
		削減	維持	増加																							
成果	向上																										
	維持		●	×																							
低下	維持		×	×																							
	低下																										